

# 平成 28 年度 学校法人三幸学園 仙台リゾート&スポーツ専門学校

## 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者: 副校長 高岡 昌弘

学校関係者評価報告責任者: 学校関係者評価委員会委員長 笠松 淳史

### 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

また、リゾスポ分野(オールリゾスポ)としてスケールメリット・トップシェアを活かした産学連携を推進していく。

以下を基本戦略として教育力向上を図っていく。

1. 教育内容の充実・独自性の構築
2. 就職実績の質・量の向上・拡大
3. リゾスポ・三幸学園のプレゼンスの向上

### 2. 28 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

学校全体の共通目標として《関係の質の向上》を掲げ、「メンバーの一体化」「メンバー・講師の一体化」「講師間の一体化」を図っている。

また教務においては以下の内容の目標・計画を掲げて取り組んだ。

○生徒指導(教科指導+生活指導)における教員行動指針

⇒教員の行動・発言で生徒のスイッチを『ON』にしよう!

○授業アンケート結果⇒仙台R全体平均値 4.5 以上

○退学率 4%未満-14 名/354 名中 (うち内的要因 3.5%未満-12 名/354 名中)

○精皆勤 50%以上-177 名/354 名中 (うち皆勤 30%以上-106 名/354 名中)

◎挨拶の徹底

◎清掃・美化

①28 年度重点施策振り返り

○授業アンケート結果→仙台 R 全体平均 4.47

・授業アンケート結果は前年度実績は上回ったものの目標を達成できなかった。

○退学率 4.2%、精皆勤率 43.4%

・退学率・精皆勤率ともに目標数値を達成することができなかった。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

##### ① 課題

学園のビジョン・ミッションや育成する人物像が設定され、方向性の共有が図れるようになり、教職員、生徒に関しては周知する機会やツールが多く作成され、共有が図れている。保護者に向けては新入生に対しての入学前オリエンテーション開催時に保護者説明会を同時開催し、教育理念・目標の周知を図っているが、参加できていない保護者への周知が課題となる。

##### ② 今後の改善方策

保護者の認知をより高めるために保護者説明会参加の重要性を周知し、参加率を高める。また、参加できない保護者に対しての周知ツールを構築し、今まで以上の認知を図る。

##### ③ 特記事項

進路選択中の保護者に対しても、保護者向けツールや保護者説明会を通じて、学校の教育理念について周知を図っている。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

引き続き、教育理念の周知に努める。

#### (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4 ③ 2 1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

コンプライアンス体制の整備に関しては規定等の制定が進んでいるが、認識の定着・徹底をはかる必要がある。

② 今後の改善方策

法定や規則に基づいた業務の認識を全体会議などを活用し、定着・徹底していく。

③ 特記事項

情報システムを活用した効率化(クラウド化・情報伝達・ライブ講義等々)は学園全体として取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	④	③	②	①
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修を体系的に実施していくことが必要である。

また、分野特性を活かせる人材育成だけでなく、人材確保・採用も検討していく必要がある。

② 今後の改善方策

スポーツ分野姉妹校全体でのスケールメリットを活かした業界との連携・企業との繋がり(教育課程編成委員会)を自校に落とし込むと同時に、その繋がりから関係者を招聘して関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修を定期的実施する。

### ③ 特記事項

姉妹校全体として産学連携による教育活動の展開は方向性として持っており、リゾスポ全体での取り組みを如何に自校の日常の取り組みに繋げていくかの検討を進めている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

先端的な知識・技能面を習得するための研修等を定期的実施する体制が望ましい。

## (4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

### ① 課題

卒業生に関しては情報を把握する手段や繋がりが属人的になっているため、学校として卒業後もキャリア形成の支援をするための繋がりを確保できるような仕組みづくりが必要である。

### ② 今後の改善方策

業界の活性化や卒業生のキャリア支援という視点から卒業後教育や卒業生間の繋がり構築などの取り組みを学校単体ではなく、リゾスポ全体として進めていく。同窓会組織や SankoLink(同窓会サイト)の活用を推進する。

### ③ 特記事項

学園全体として卒業生・同窓会組織に関するプロジェクトを進めており、まずは WEB を使った情報発信の仕組みを構築している。在学中から認知できる周知も実施している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

入学した時点で同窓会の存在を理解させる。

同窓会リンクが浸透することによって、就職にも良い影響がでる。

## (5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1

社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

① 課題

上記(4)同様、卒業後に関する取り組みが不足している。

② 今後の改善方策

卒業生への対応＝社会人へのキャリア教育・職業教育の機会として認識し、構築していく。

③特記事項

三幸学園初期費用軽減&学費分割制度という日本学生支援機構奨学金制度を活用した学費分割制度を設定している。

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

防災に関しては 3.11 を踏まえて備蓄等の対策や大地震対応マニュアルの制定、また、緊急時対応に関するマニュアルも整備されているが、人的な訓練の実施について検討する必要がある。

② 今後の改善方策

産学連携を重視した教育環境の改善を図っていく。

防災に関しては震災地としての認識を持って改めて見直しを図り、特に緊急時の対応や避難に関わる訓練を実施する。

③ 特記事項

平成 26 年 5 月新校舎竣工により大幅に教育環境の改善がなされる。実技系器機類の整備や全教室にプロジェクター設置など授業のビジュアル化が進んだ。東北エリアに留まらず、スポーツ分野の人材育成の環境として期待できる。

④学校関係者評価委員会コメント

人的な訓練の設定が今後の課題である。学校として具体的な避難訓練等が必要となる。

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

募集定員内での募集、宮城県等の規程の沿った広報活動・募集活動が実施されている。

② 今後の改善方策

文科省からの就職実態(雇用形態)に関する通達に準じた表記等の対応を行う。

③ 特記事項

業界との連携により、この業界の魅力を発信し、優秀な人材が多く興味を持ってもらい、業界発展に貢献できるこの業界でのキャリアの見せ方、この東北エリアでの魅力ある働き方を提案できるよう検討していく。

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8)財務

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

①課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

②今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	②	1
自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

### ① 課題

関係法令にて義務化されている自己評価とともに評価結果の公開についても定例化させる必要がある。

### ② 今後の改善方策

自己評価ならびに学校関係者評価の結果からの運営改善とともに公開を進める。

### ③ 特記事項

産学連携による教育の充実を図っている中で職業実践専門課程への対応を視野に入れて法令を遵守する。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

自己評価の実施による問題点の改善を進めてほしい。

## (10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

### ① 課題

教育環境の1つとしてスポーツ分野に関連したボランティア活動を積極的に推奨しており、業界との連携から場の提供と現場での教育理解を図った上で展開している。

25年度から近隣の幼児を対象に生徒たちがサポートするスポーツ教室を展開し、大変好評を得ている。

行政関係の講座・教育訓練受託に関しては分野的にほとんどないため実施できていない。

### ② 今後の改善方策

学校という教育環境とスポーツ人材育成という実践環境を活かして地域や関係団体と連携した活動をより推進していく。

### ③ 特記事項

H26年5月竣工の新校舎においてはスポーツ業界人材育成の教育環境を活かして地域に留まらず東北エリアにおいて人材育成の情報発信施設・人材交流施設を目指して運営を行う。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

引き続き、地域 NO.1 校として社会貢献・地域貢献に取り組んでほしい。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本評価の結果からは課題として浮かび上がっているのは「卒業後」と「分野特性のある人材」と「コンプライアンス」というキーワードとなっている。これまでは卒業生に対する施策が乏しかったが、学園全体でのプロジェクトを活用するとともに人材という観点からもキャリア教育という観点からも在学中から学校との繋がりを強化することが必要である。同窓会組織、SankoLink(同窓会サイト)の一層の周知・認知を推進していくことが課題である。

また、制度や規程に基づいたコンプライアンスを重視した学校運営を継続することも公益性の高い教育機関として重要課題である。

全体としては専門学校として職業やキャリアを重視して産学連携を意図した取り組みが進んできており、よりリゾスポ全体での産学連携の動き(キャリア支援推進)と日常的なカリキュラム(産学連携カリキュラム改訂)とリンクして教育環境の充実を図ることで、より地域 NO.1. ONLY1の学校に近づけるものである。また、1. 学校の教育目標で掲げた基本戦略である「1. 教育内容の充実・独自性の構築」「2. 就職実績の質・量の向上・拡大」「3. リゾスポ・三幸学園のプレゼンスの向上」を推進していくことで教育力向上を図っていくことも重要である。

本校の対象が東北エリアであることを踏まえてエリア特性を活かした人材育成や社会貢献への取り組みを進めているが、今後も着実に1つずつ形にしていくことも重要な課題である。